



扇風機は自由に回っているように見えるが、心棒だけは狂わない。他のことはお前たちの好きなようにやれ、しかし、このことだけは、狂わせては容赦しないぞ、というものを、「おやじ」自身ももち、子どもにも、身をもってそれを届けてやる「おやじ」を期待したい。 (東井義雄 教育者)

父親として、子どもへの関わり方のありようについて考えさせられる言葉ですね。お父さんたち、家庭内での心棒でありたいものです。「おやじ、頑張れ」です。

一流の選手から教えられるもの(1)

イチロー選手のことを知らない人はいないでしょう。野球に興味はなくても、名前だけは知っておられることでしょう。ここで、引退後のインタビューでイチロー選手が語った言葉を紹介します。彼の言葉から学べるものがたくさんあるようです。

「子どもたちにぜひメッセージを」と言われたことに対して、

シンプルだなあー。メッセージかあ。苦手だな、僕が・・・。

まあ、野球だけでなくもいいんですよ、始めるものは、自分が熱中できるもの、夢中になれるものを見つけられれば、それに向かってエネルギーが注げるので。そういうものを早く見つけて欲しいなと思います。それが見つかれば、自分の前に立ちはだかる壁に向かっていける。向かうことができると思うんですね。それが見つけられないと壁が出てくると諦めてしまうということがあると思うので。色んなことにトライして、自分に向く向かないかというより自分が好きなものを見つけたいと思います。

このイチロー選手の言葉から、「夢を実現する」「目的を達成する」ための方法を学ぶことができます。

1 「自分が熱中できるもの、夢中になれるものを見つけること」

いかがでしょうか。あなたの子どもさんは、何か夢中になれるものを見つけているでしょうか。「まだだよ」という方も多いことでしょう。あせることはありません。じっくりと子どもが見つかるまで待ってやるのが大切です。子どもは、いろいろなことを体験するなかで、熱中できるもの、夢中になれるものを自分で見つけていくのです。

2 「自分の前に立ちはだかる壁に向かうこと」

立ちはだかる壁に向かうには、大きなエネルギーが必要となります。壁に跳ね返されることも多いでしょうが、成長の過程で壁に立ち向かう力を徐々に身につけさせるのが大切です。途中、悩んだり、立ち止まったり、失敗したりすることもあるでしょうがじっと見守ってやるのが大切です。

3 「色んなことにトライして、自分に向く向かないかというより自分の好きなものを見つけること」

成功した人は、子どもの時からいろいろな経験・体験をする中で自分の好きなことを見つけ、その道に進むために努力をした人です。そこには、助言や支援も必要になることもあるでしょうが、親として、大切なことは子どもが取り組んでいることに、あまり口や手を出さないようにすること、失敗したときには大丈夫だよというシグナルを送ることです。子どもは、親が思っている以上にたくましいものです。温かく見守りましょう。

イチロー選手だけでなく、その道で活躍しておられる方たちは、皆、イチロー選手と同じことを言っておられるように思います。ここに、夢を叶えていくための秘訣があるということなのでしょう。「夢の実現」について、子どもと一緒に考えてみましょう。

文責＝青少年育成センター指導員 藤村